

# 高山市における子どもの意識と 学習・生活実態について

---

—小学5年生・中学2年生への  
調査票調査の結果から—

● 目白大学

人間学部

人間学部

○ 峯村 恒平

西山 里利

## ◆ 本発表の概要

- 2023年度(今年度)、(一財)飛騨高山大学連携センターより受けた受託研究「**高山市における子育て環境に関する現状と課題、分析**」の一環として、**高山市の小学5年生、中学2年生**にアンケート調査(子ども調査)を実施
- 子ども調査では、学習のこと、生活のこと、高山市のこと、将来の希望など多様に聞いているが、本報告では、**高山市の仕事に対する意識や、将来の帰郷希望との関連**について述べる

# ◆ アジェンダ

---

1. 研究の背景
2. 調査の概要と分析の方法
3. 結果
4. 考察とまとめ

# ◆ アジェンダ

---

1. **研究の背景**
2. 調査の概要と分析の方法
3. 結果
4. 考察とまとめ

# ◆ 研究の背景

---

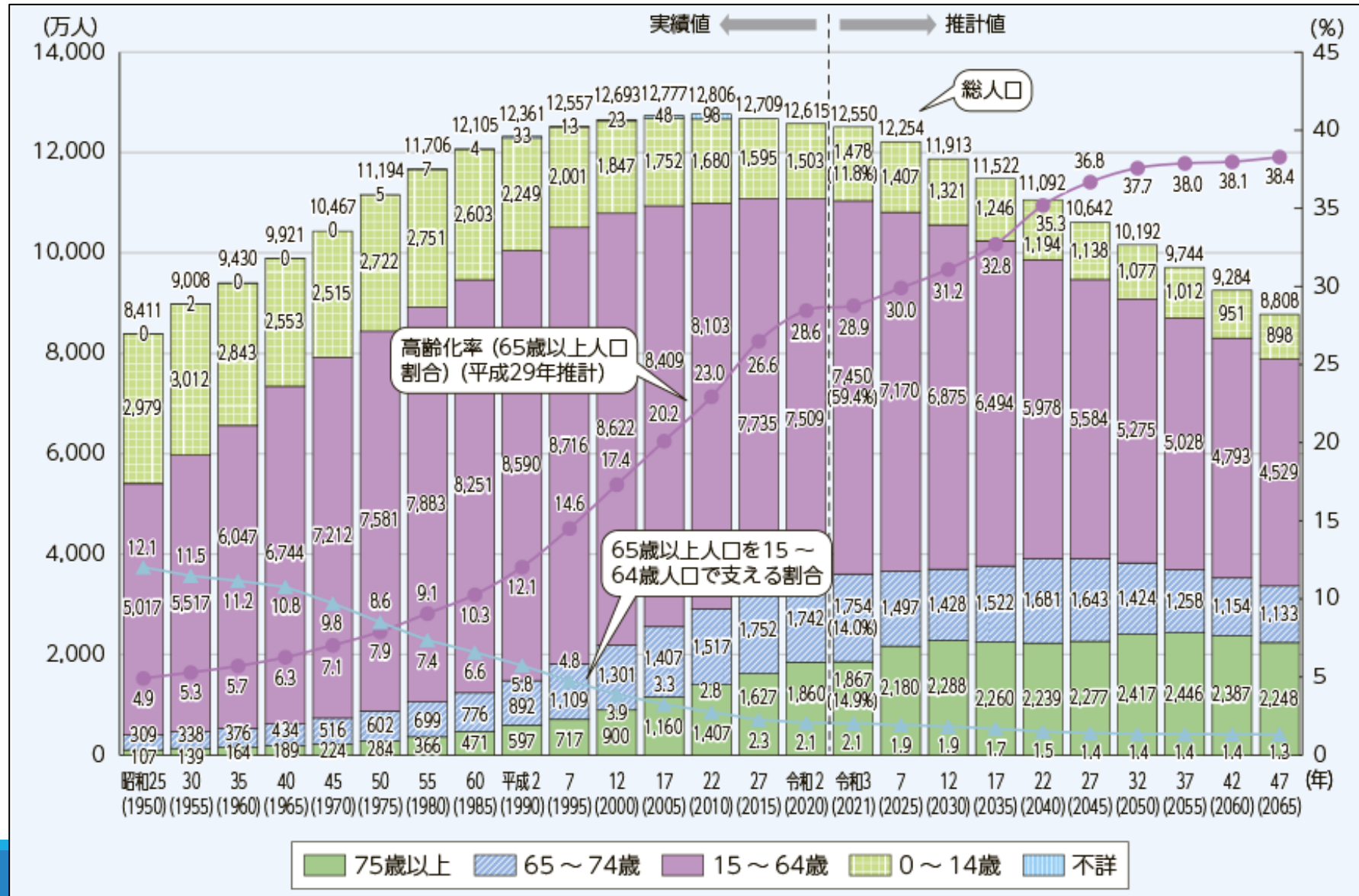
## ● 日本で進む少子高齢化

- 日本全体での人口減少、出生数の減少、高齢化
- 東京圏の転入超過と地方の衰退

地方をどう維持するか  
地方をどう活性化するか  
地方をどう発展するか



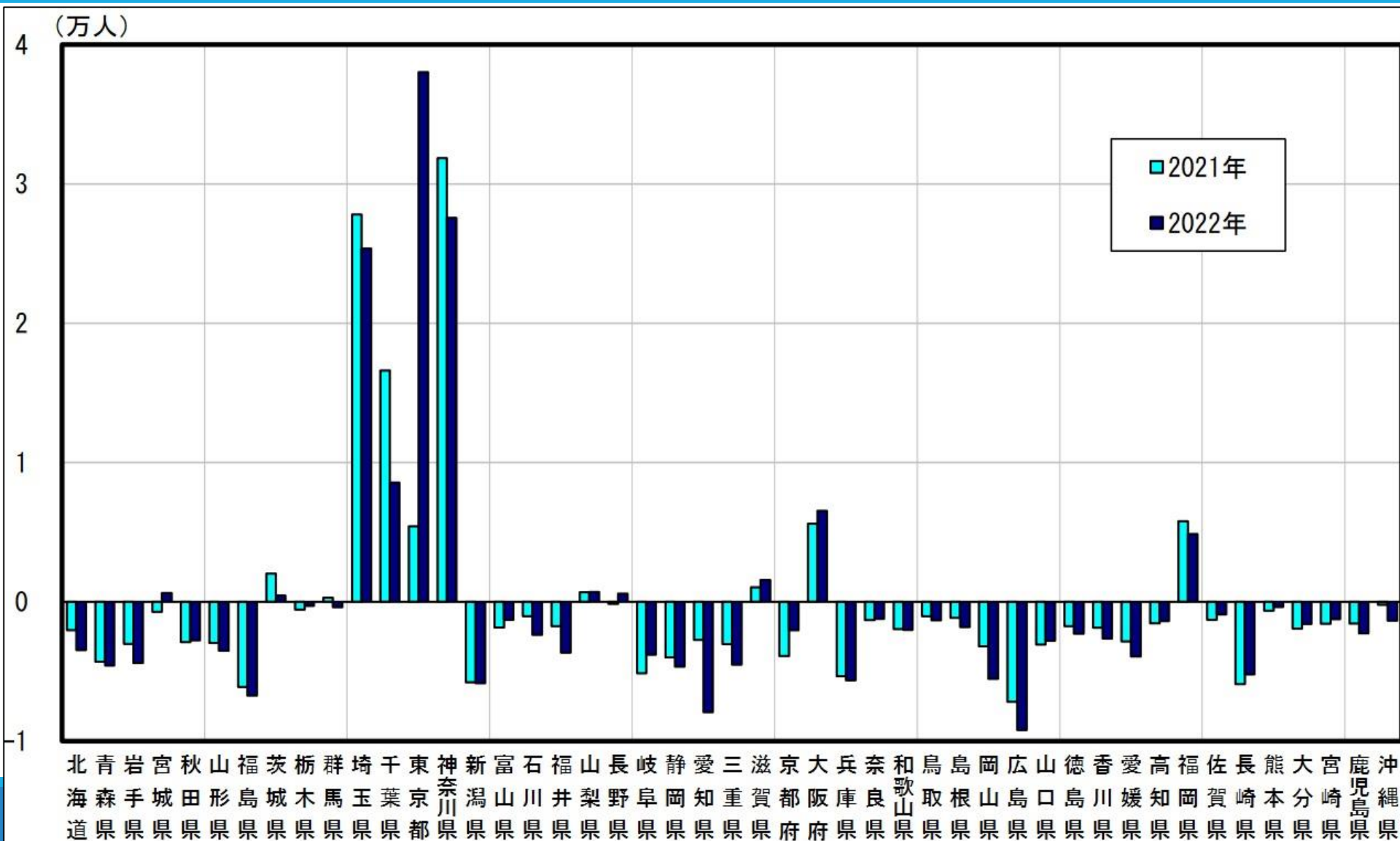
# 人口減少・少子高齢化





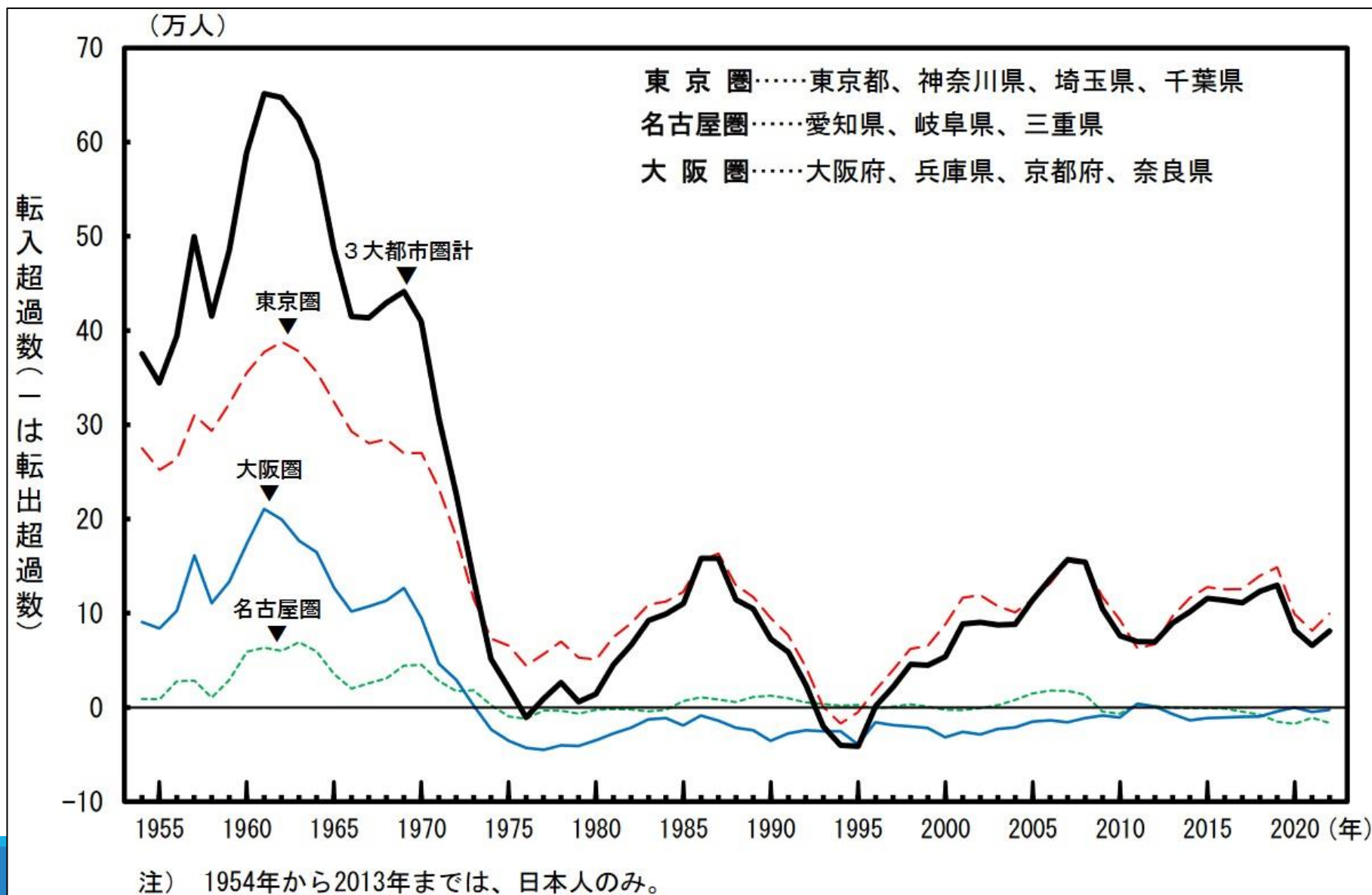
# 流入・流出人口

総務省(2023)住民基本台帳人口移動報告 2022年(令和4年)結果  
<https://www.stat.go.jp/data/idou/>



# 都市圏の流入人口推移

総務省(2023)住民基本台帳人口移動報告 2022年(令和4年)結果  
<https://www.stat.go.jp/data/idou/>





# ◆ 研究の背景

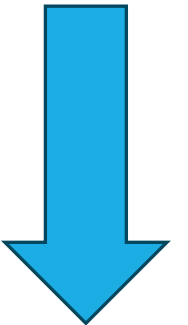
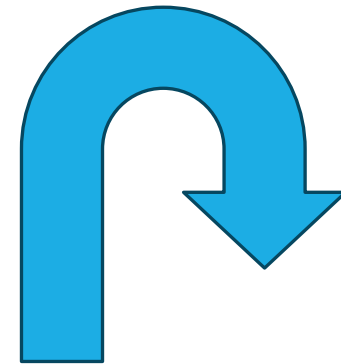
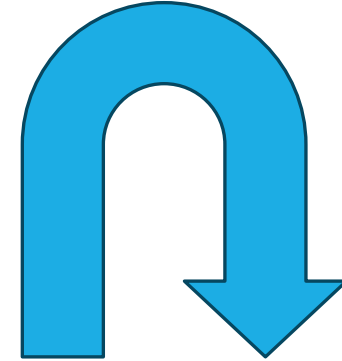
## ● 取り組まれてきた「Uターン」、「Iターン」、「Jターン」

➤ Uターン : 地方から 都市へ そして地方へ

➤ Iターン : 都市から 地方へ

➤ Jターン : 地方から 都市へ

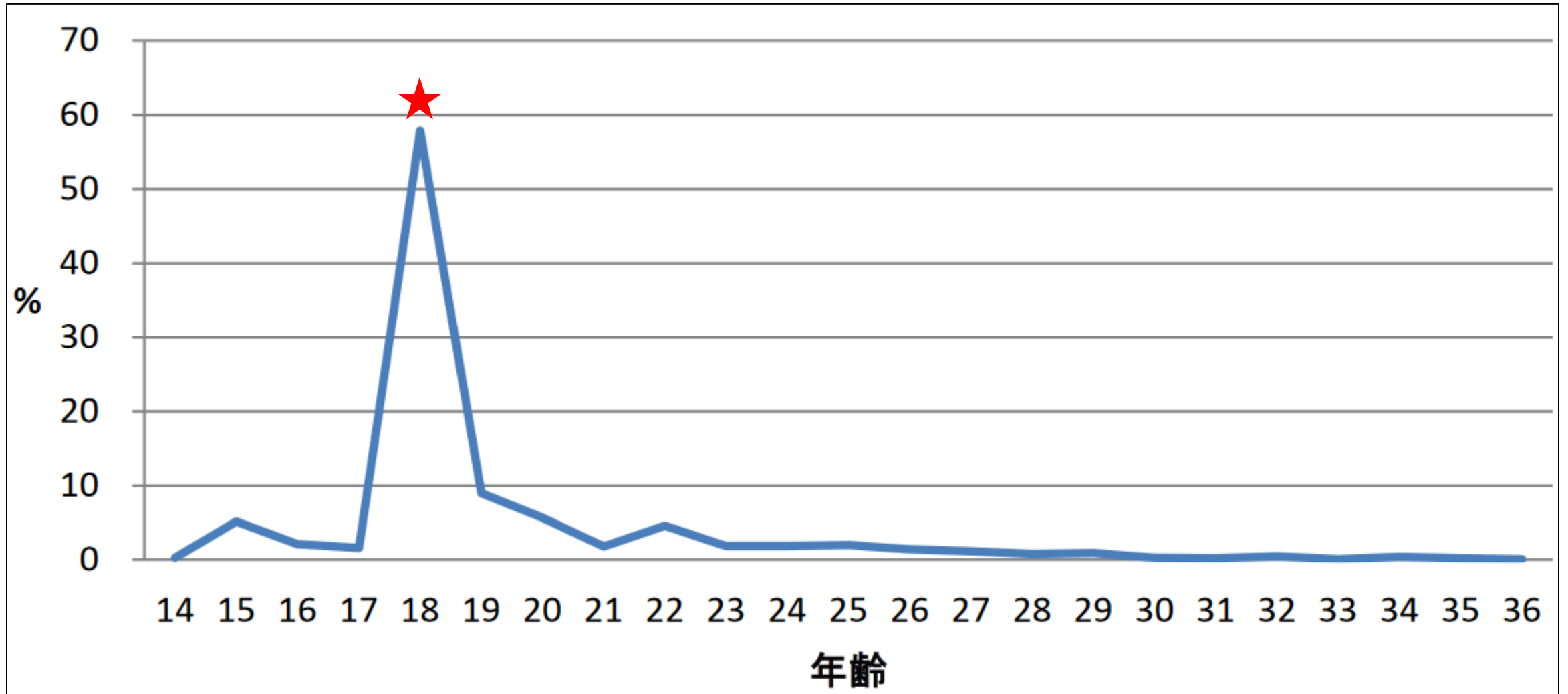
そして地方の近隣地方都市へ





# 出身市町村を離れた年齢

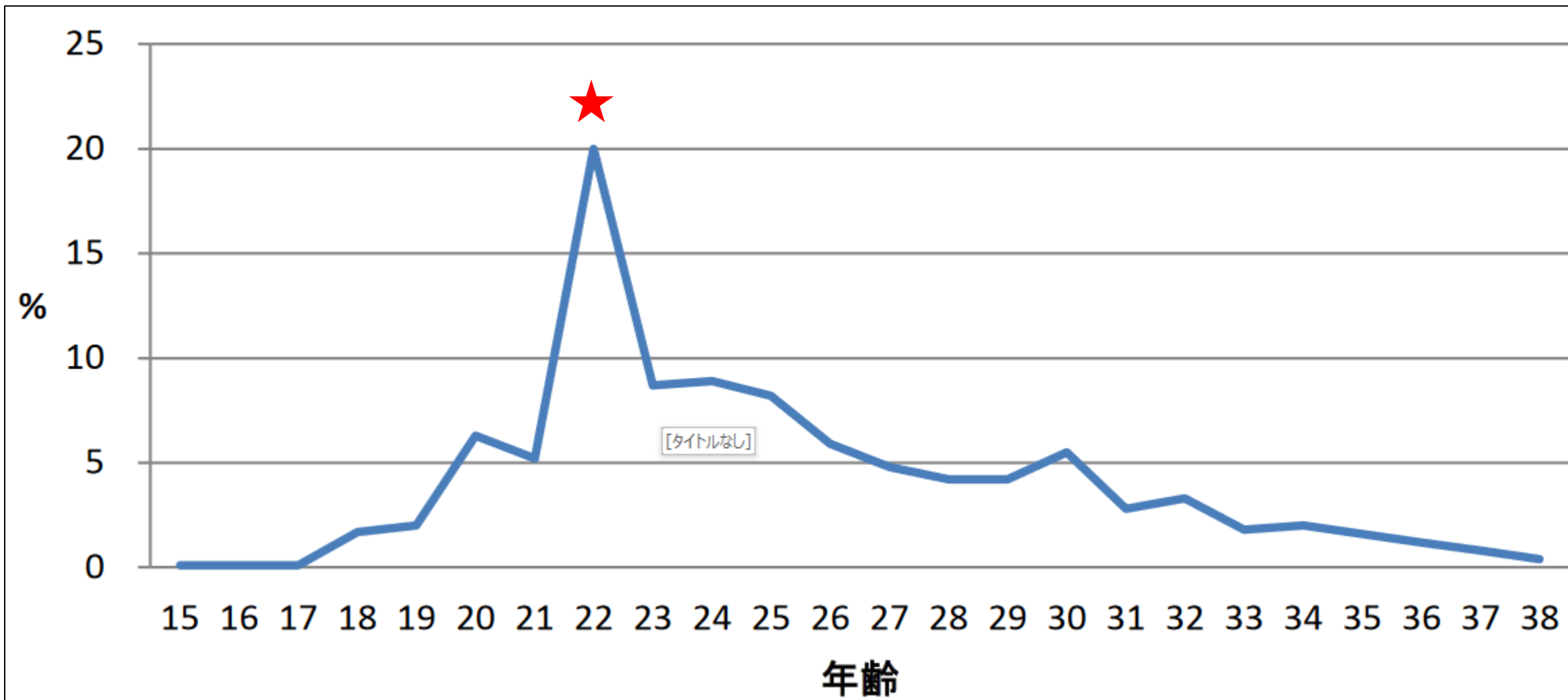
(独法)労働政策研究・研修機構(2016)UIターン促進と地方の活性化  
<https://www.jil.go.jp/institute/research/2016/152.html>



2016年に独法が実施した調査結果より。n=1932。

# ◆ 出身県へのUターン年齢

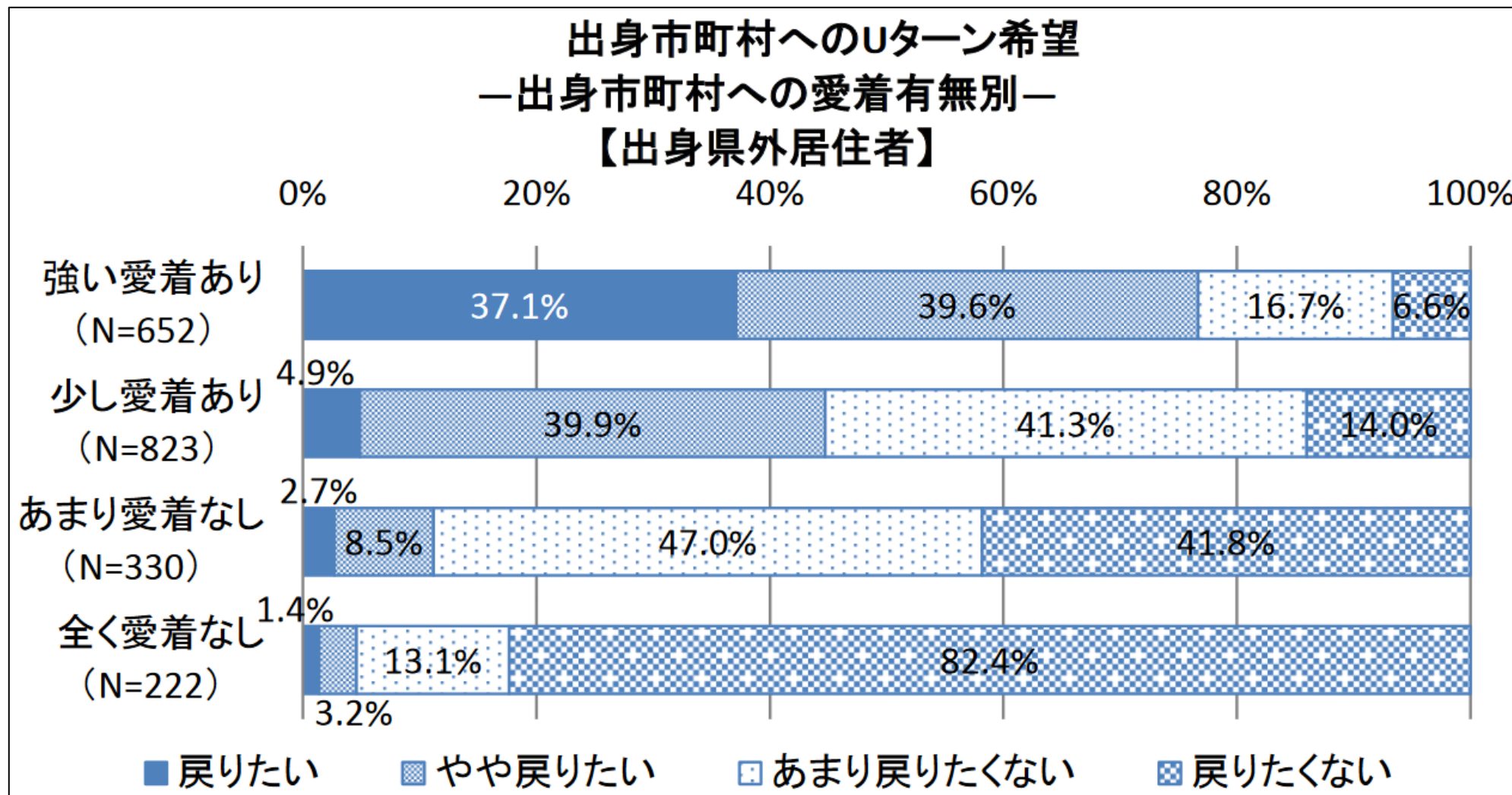
(独法)労働政策研究・研修機構(2016)UIIターンの促進と地方の活性化  
<https://www.jil.go.jp/institute/research/2016/152.html>



2016年に独法が実施した調査結果より。n=1467。

# ◆ Uターン希望と「愛着」

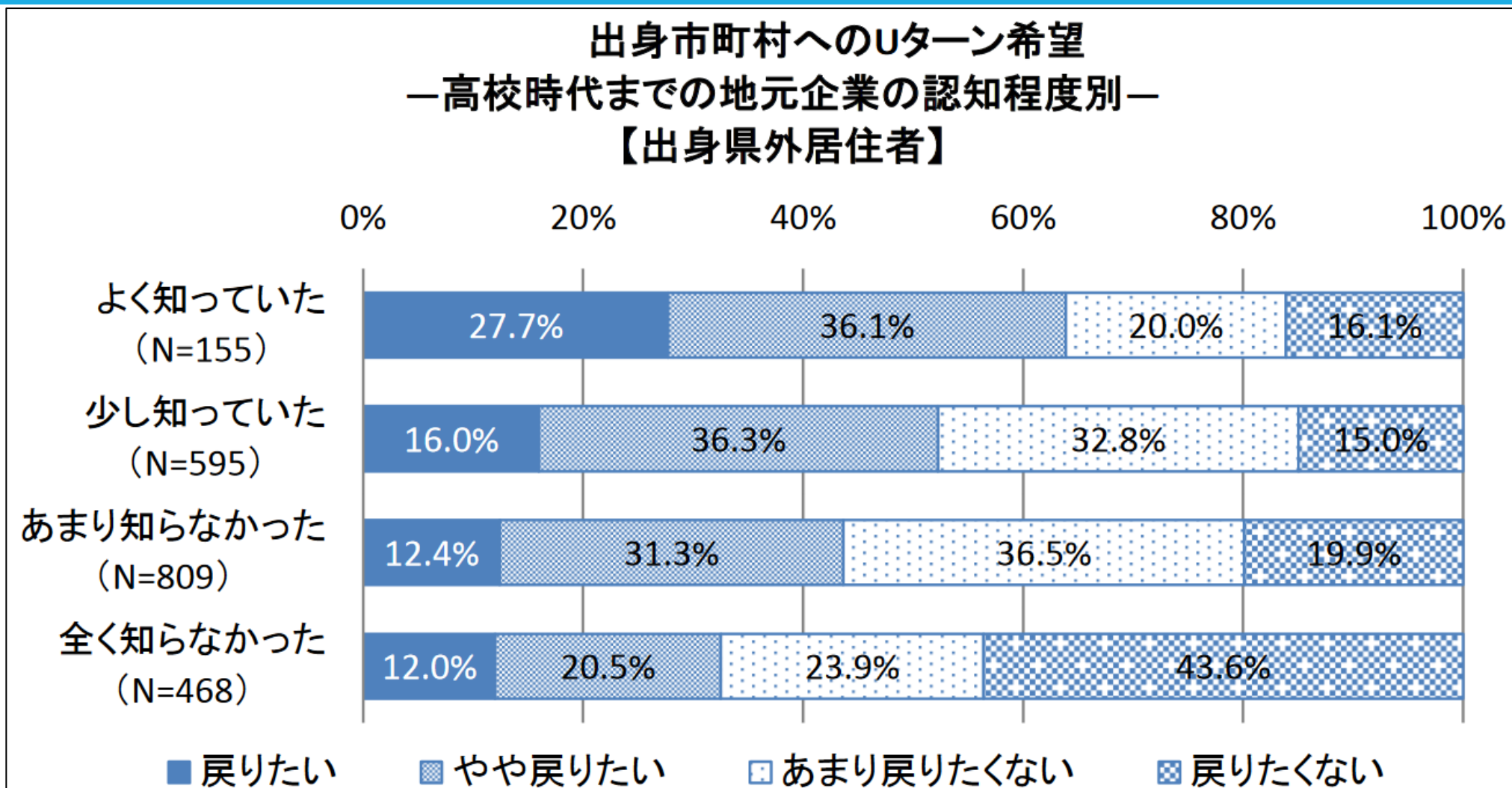
(独法)労働政策研究・研修機構(2016)Uターンへの促進と地方の活性化  
<https://www.jil.go.jp/institute/research/2016/152.html>



2016年に独法が実施した調査結果より。

# ◆ Uターン希望と「企業認知」

(独法)労働政策研究・研修機構(2016)UJターンの促進と地方の活性化  
<https://www.jil.go.jp/institute/research/2016/152.html>



2016年に独法が実施した調査結果より。

# ◆ 研究の問いと目的

## ● 研究の問いとして

- 高山市に限らず、学校教育では「地域」や「郷土」も扱う
- 今般の学習指導要領改訂では「伝統や文化」に関する記述も強化
- IUターンに関する過去の調査結果を踏まえつつ、高山市の子どもが  
地域の仕事や、地域への愛着をどう感じ、将来のUターン意識をどう  
抱いているか、実態を明らかにする。

# ◆ アジェンダ

---

1. 研究の背景
2. 調査の概要
3. 結果
4. 考察とまとめ

# ◆ 調査の概要

## ● 調査の概要

- 目白大学が(一財)飛騨高山大学連携センターより受けた受託研究「高山市における子育て環境に関する現状と課題、分析」により実施された調査である。
- 当該調査は、2024年度「(仮称)高山市子どもにやさしいまちづくり計画」の改定に向けたもので、本発表は子ども対象の調査結果による。



# ◆ 調査の対象

---

## ● 調査の対象

- 高山市内 全小学校・中学校対象
  - 小学校5年生 調査(全数)
  - 中学校2年生 調査(全数)

# ◆ 調査の方法

---

## ● 調査方法

- Web調査形式
- 学校長あてに依頼
- 子どもにはQRコードの書かれた紙を担当等の教諭から配布
- 学級活動の時間等に配布し学習用タブレットで回答

# ◆ 調査の内容

---

- 調査内容（学習、生活などの内容も聞いているが、以下本発表に関連するもの）
  - 高山市にある仕事に対する認識
  - 高山市への愛着
  - 将来住みたいか

# ◆ 調査時の配慮（倫理的配慮）

## ● 倫理的配慮（人権配慮）

- 調査目的、方法、下記内容を、依頼文、Webページ冒頭で明示した。
  - 完全な匿名調査であること（氏名等は聞かない）。
  - 答えたくない質問は答えなくてよいこと。
  - 先生や保護者は1件1件の回答を見ないこと。
  - 成績に関係ないこと、集計結果だけが公表されること。
  - 回答にかかるだいたいの時間。
- 学校長宛依頼文でも「全員の回答を求めるものではない」旨明示。

# ◆ アジェンダ

---

1. 研究の背景
2. 調査の概要と分析の方法
3. **結果**
4. 考察とまとめ

# ◆ 回答者の基本情報

## ● 回答件数

	合計 (人)	男	女	答えたくない
全体	1427	50.0%	47.4%	2.5%
小学5年生	679	51.0%	47.1%	1.9%
中学2年生	748	49.2%	47.7%	3.1%

# ◆ 高山市にある仕事に対する認識

問 あなたは、あなたの住んでいるところにある仕事(職業)についてどう思っていますか

## ア 住んでいるところには、とても多くの種類の仕事(職業)がある

	n	そう思う	少しそう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない	分からない 答えたくない
全体	1354	24.4	36.5	23.5	4.2	11.4
小学5年生	640	23.8	33.0	21.3	4.7	17.3
中学2年生	714	25.1	39.6	25.5	3.8	6.0

## イ 住んでいるところには、働きがいのある仕事(職業)がある

	n	そう思う	少しそう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない	分からない 答えたくない
全体	1345	33.7	35.0	13.2	4.3	13.8
小学5年生	634	29.2	31.4	12.5	5.0	21.9
中学2年生	711	37.7	38.3	13.8	3.7	6.6

# ◆ 高山市にある仕事に対する認識

問 あなたは、あなたの住んでいるところにある仕事(職業)についてどう思っていますか

ウ 住んでいるところには、給料が多かったり、自分が働きたいと思う仕事(職業)がある

	n	そう思う	少しそう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない	分からない 答えたくない
全体	1344	19.6	28.6	23.6	9.7	18.5
小学5年生	632	19.6	26.3	19.9	11.4	22.8
中学2年生	712	19.7	30.8	26.8	8.1	14.6



# ◆ 高山市にある仕事に対する認識

問 あなたは、あなたの住んでいるところにある仕事(職業)についてどう思っていますか

## エ 将来は、住んでいるところの会社や市役所などで働きたい

	n	そう思う	少しそう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない	分からない 答えたくない
全体	1341	9.9	22.1	33.8	20.2	13.9
小学5年生	631	9.8	21.4	28.7	23.0	17.1
中学2年生	710	10.0	22.8	38.3	17.7	11.1

## オ 将来は、今住んでいるところで自分のお店を開いたり、 家の仕事を自分が続けたりして働きたい

	n	そう思う	少しそう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない	分からない 答えたくない
全体	1340	12.6	18.5	32.7	22.8	13.4
小学5年生	629	17.3	24.2	24.0	18.9	15.6
中学2年生	711	8.4	13.5	40.4	26.3	11.4

# ◆ 高山市に対する愛着

問 あなたは、このまち（高山市や住んでいるところ）が好きですか。

	n	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
全体	1294	63.2	30.8	4.4	1.5
小学5年生	600	77.7	19.3	2.0	1.0
中学2年生	694	50.7	40.8	6.5	2.0

小学生より中学生の方が下がるが、これは他の地域においても同様。  
他の地域で行われている調査に比して「好き」「まあまあ好き」の割合は高い。  
(c.f. 山口県(2017)「青少年の生活と意識に関する調査」)

# ◆ 将来住みたいかどうかについての意識

問 あなたは、将来もこのまち（高山市や住んでいるところ）に住みたいですか。

	n	住み続けたい	住み続けたくない	一度まちを出て、また帰ってきたい	まだ決めていない	その他
全体	1284	26.4	7.8	37.1	27.5	1.2
小学5年生	596	35.4	4.2	32.0	26.8	1.5
中学2年生	688	18.6	10.9	41.4	28.1	1.0

「まだ決めていない」の割合がそもそも高い。  
その上で、「住み続けたくない」という割合は、  
冒頭で紹介した（独法）労働政策研究・研修機構の調査結果より低い。

# ◆ 「高山市にある仕事」と「将来住みたいか」

問 あなたは、あなたの住んでいるところにある仕事(職業)についてどう思っていますか  
 イ 住んでいるところには、働きがいのある仕事(職業)がある



問 あなたは、将来もこのまち(高山市や住んでいるところ)に住みたいですか。

	1 住み続けたい	2 住み続けたくない	3 一度まちを出て、 また帰ってきたい	4 まだ決めていない	
そう思う	30.7%	5.7%	40.6%	23.1%	100.0%
少しそう思う	25.5%	5.2%	43.5%	25.7%	100.0%
あまりそう思わない	24.5%	18.4%	25.8%	31.3%	100.0%
まったくそう思わない	24.5%	18.9%	26.4%	30.2%	100.0%
分からない・答えたくない	23.4%	5.8%	29.8%	40.9%	100.0%

	1 住み続けたい	2 住み続けたくない	3 一度まちを出て、 また帰ってきたい	4 まだ決めていない
そう思う	130	24	172	98
少しそう思う	112	23	191	113
あまりそう思わない	40	30	42	51
まったくそう思わない	13	10	14	16
分からない・答えたくない	40	10	51	70

# ◆ 「愛着」と「将来住みたいか」

問 あなたは、このまち（高山市や住んでいるところ）が好きですか。



問 あなたは、将来もこのまち（高山市や住んでいるところ）に住みたいです。

	1 住み続けたい	2 住み続けたくない	3 一度まちを出て、 また帰ってきたい	4 まだ決めていない	
1 好き	37.9%	2.3%	37.6%	22.3%	100.0%
2 まあまあ好き	8.5%	12.1%	40.5%	38.9%	100.0%
3 あまり好きではない	1.8%	39.3%	25.0%	33.9%	100.0%
4 好きではない	10.5%	68.4%	10.5%	10.5%	100.0%

	1 住み続けたい	2 住み続けたくない	3 一度まちを出て、 また帰ってきたい	4 まだ決めていない
1 好き	303	18	301	178
2 まあまあ好き	33	47	157	151
3 あまり好きではない	1	22	14	19
4 好きではない	2	13	2	2

# ◆ アジェンダ

---

1. 研究の背景
2. 調査の概要と分析の方法
3. 結果
4. **考察とまとめ**

## ◆ 考察とまとめ

### ● 「高山市にある仕事に対する認識」

- 「多くの種類の仕事がある」、「働きがいのある仕事がある」と、  
感じている割合は、「そう思う」、「少しそう思う」合わせて**60%超**。
- 「働きたい仕事がある」になると、同、**50%程度**。
- 「住んでいるところで働きたい」になると、同、**30%前後**。

## ◆ 考察とまとめ

### ● 「愛着」と「将来住みたいか」

- 愛着は極めて高く、「あまり好きではない」、「好きではない」を合わせて、10%未満。
- 「住み続けたくない」人も少なく、全体で7.8%。  
ただし、「まだ決めていない」が30%弱。



# ◆ 考察とまとめ

## ● クロス集計から

- 仕事について理解と、「一度まちを出てまた帰ってきたい」は関係あり。
- 「愛着」とも関係がある。

好きではないほど「住み続けたくない」が増える。

これは(独法)(独法)労働政策研究・研修機構の結果と整合的だが、独法が行った調査段階に比して、もっと若年から同様の傾向があることがわかる。

高山市の子どもは高山市への愛着が高く、仕事についての理解も一定程度あることから、  
現行の郷土教育の継続・充実を前提に、他地域に比べて、  
定住政策やUターン・Iターン・Eターンの拡充がしやすい土壌がある地域である可能性が高い

# ◆ 謝辞・開示事項等

## ● 謝辞

- 当該受託研究の実施に関し、関係各位に感謝申し上げます。
- 調査にご協力くださった児童生徒の皆さんに、厚く御礼申し上げます。

## ● 開示事項等

- 本発表に関して、利益相反に関わる開示事項はない。

# ◆ 引用文献

## ● 引用文献

- 国土交通省(2020)国土交通白書2020. 日経印刷.
- 総務省(2022)情報通信白書 令和4年版.
- 総務省(2023)住民基本台帳人口移動報告 2022年(令和4年)結果.
- 独立行政法人労働政策研究・研修機構(2016)UIIターンの促進と地方の活性化.
- 内閣府(2020)第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020改定版).
- 文部科学省(2017)小学校学習指導要領.